

令和6年度 第1回役員会

- 1 日 時 令和6年7月2日(火) 19:00 ~ 20:50
- 2 場 所 三宮センタープラザ 西館 6階 第3会議室
- 3 出席者 黒澤会長、坪本副会長、永井副会長
常任幹事(田中、中田、中屋、奥西、谷口、吉牟田)
KTC 理事(濱村理事、野村理事(WEB)、室井監事)
大学代表(中山専攻長)
暁木会顧問(安藤顧問、金治顧問、石原顧問)

4 議事内容

(1) 令和5年度総会報告 (資料1)

- ・令和5年度は卒業生・修了生も出席する形で概ね従前の形式で開催。懇親会もアルコール飲料を提供する形で実施。全ての議事が承認された。
- ・コロナ禍前と比べて会員や卒業生、修了生の参加者数が減少しているため、今後の暁木会行事および総会の開催手法・形態について、継続的に検討する。
- ・総会が対面開催に戻っているなか、会費会員への勧誘に向けた説明についても検討する。

(2) 年間行事予定 (資料2)

- ・例年ベースでの行事予定を見込んでいる。
- ・KTC側から、10/26(土)神戸大学ホームカミングデイでの「橋をつくる」講座を依頼されている。7月中旬には確定する必要がある、「了解」で回答する。
- ・昨年度は、阪神高速及び神戸市から「橋をつくる」講座用の資材を借用した。暁木会としての資材保有を検討する。
- ・「橋をつくる」講座の当日対応について調整が必要。昨年度は、幹事、神戸市職員の応援で実施した。
- ・神戸市職員は業務対応となるので、大学からの依頼文を出してもらった。

(3) 業界説明会の実施報告 (資料3)

- ・3年生初めの時期で、学生にとって就職について考える機会になるとともに、暁木会活動等に対する認知度向上に一定寄与するものと思われる。
- ・運用面で一部課題は有るものの、学生、OB双方にとって一定意義があると思われる。次年度開催について大学との意見交換会で議論を進める。
- ・(議事7で大学からの意見あり)

(4) 会員の状況等(資料4)

- ・会費会員は、令和2年度をピークに徐々に減少している。

- ・40代後半以下の登録割合が低い。
- ・会費会員の増強に向けて、学生に対する支援、会員相互の親睦を深める活動など、暁木会の活動内容を引き続きPRしていく。
- ・卒業後も若い世代にメリットを伝え、フォローする取組みが必要である。

(5) 名簿発行について(資料5)

- ・これまでの名簿作成業者が業務から撤退するため、KTCのマスターデータからアプリにより名簿原稿を作成する方法に変更する。
- ・今年度は名簿の電子データ配布は行わず、紙媒体での配布とする。

(6) 暁木会ニュースについて(資料6)

- ・令和6年度の暁木会ニュース発行は、9月と3月の2回を予定している。
- ・9月発行分については、基本的に原稿執筆依頼を終えているが、その他掲載した方がよいニュースがあれば情報提供願う。

(7) 大学側からの情報提供

(大学)

- ・4月に開催した業界説明会は、学生にとって中途半端な印象だったようだ。大学で相談したところ、来年度からは授業の一環(4~5コマ)として実施してはどうかという意見が出ている。
- ・より多くの卒業生に協力いただく必要があり、7/11の意見交換会で相談させてほしい。
- ・大学への助成金の使途が難しい。どんな使途が良いか、意見があれば伺いたい。

(暁木会)

- ・暁木会の目的は大学の発展への寄与であり、良いことだと思う。
- ・助成金の使途は、海外派遣の学生への支援金などが理想的である。学生にアンケートをとってみるのも一つの方法ではないか。

(8) 暁木会・KTC・神戸大学意見交換会(資料7)

- ・第1回の意見交換会を7月11日(木)に開催予定
- ・暁木会の活動(案)を説明し、大学側と意見交換させて頂きたい。

(9) その他

① 四国支部設立総会への支援

- ・8/25(日)に四国支部設立総会が予定されており、本部支援を要望されている。
- ・支部設立による会員増も期待できることから、今年度は設立支援として、会場費等への支援、来年度以降は支部助成金を支出する方向で検討する。

- ・会費を使って支援するにあたり、少なくとも支部役員には会費会員になってもらうよう打診する。
- ・飲食費への充当は認められないため、費用内訳を提出してもらい妥当性を確認したうえで、書面決裁にて支援額を決定する。